

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年11月8日
【四半期会計期間】	第22期第2四半期（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）
【会社名】	ブックオフコーポレーション株式会社
【英訳名】	BOOKOFF CORPORATION LIMITED
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 松下 展千
【本店の所在の場所】	神奈川県相模原市南区古淵二丁目14番20号
【電話番号】	(042) 769 - 1511
【事務連絡者氏名】	取締役常務執行役員 野津 直樹
【最寄りの連絡場所】	神奈川県相模原市南区古淵二丁目14番20号
【電話番号】	(042) 769 - 1511
【事務連絡者氏名】	取締役常務執行役員 野津 直樹
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

## 第1【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第21期 第2四半期 連結累計期間	第22期 第2四半期 連結累計期間	第21期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高 (千円)	36,738,314	36,990,024	75,716,973
経常利益 (千円)	1,604,864	902,340	3,803,035
四半期(当期)純利益 (千円)	783,359	484,658	1,867,242
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	820,376	481,457	1,858,643
純資産額 (千円)	13,259,158	14,530,683	14,386,595
総資産額 (千円)	36,748,877	38,575,403	37,983,584
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	43.11	26.33	102.41
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	36.1	37.7	37.9
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	1,615,069	337,289	4,983,185
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	571,317	1,080,798	1,304,995
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	3,000,429	34,171	4,336,108
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	4,554,750	5,068,549	5,851,165

回次	第21期 第2四半期 連結会計期間	第22期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額( ) (円)	30.79	2.66

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 1株当たり四半期(当期)純利益金額又は四半期純損失金額の算定に用いられた普通株式の期中平均株式数は、ブックオフコーポレーション従業員持株会専用信託が所有する当社株式の数を控除して算定しております。

## 2【事業の内容】

当社グループ（当社及び当社の関係会社（子会社11社及び関連会社1社（平成24年9月30日現在））により構成）は、「事業活動を通じての社会への貢献」「全従業員の物心両面の幸福の追求」を経営理念とし、中古書籍等の小売店舗「BOOKOFF」を中心に、「リユース」を切り口とした小売店舗の運営及びフランチャイズ事業を行っております。

当第2四半期連結累計期間において、各部門に係る事業内容の変更と主要な関係会社における異動は概ね以下のとおりです。

### （ブックオフ事業）

主な事業内容の異動、及び主要な関係会社の異動はありません。

### （リユース事業）

主な事業内容の異動、及び主要な関係会社の異動はありません。

### （パッケージメディア事業）

主な事業内容の異動はありません。

なお、ブックオフメディア㈱は、平成24年4月1日付けでプラスメディアコーポレーション㈱に商号変更し、青山ブックセンター㈱を吸収合併しております。

### （その他）

主な事業内容の異動、及び主要な関係会社の異動はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中における将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### （1）業績の状況

当社グループは「ご家庭で不要となったものを、新しい持ち主のために役立てる」という「リユース業」を中核事業として、書籍・CD・DVD・ゲーム、アパレル・スポーツ用品・ベビー用品・雑貨等様々なジャンルのリユースに取り組んでまいりました。

今後も引き続き『ものを捨てたくない人が、捨てない生活をするためのインフラとしての役割を果たすブックオフ』＝『捨てない人のブックオフ』を事業ミッションとして、様々なもののリユースを通じて循環型社会の実現に取り組んでまいります。

このような経営方針の下、「BOOKOFF」を中心とした総合リユースへの事業拡大を目指し、大型複合店「BOOKOFF SUPER BAZAAR」と「BOOKOFF」都市型大型店を当社グループの中核パッケージとして出店促進を図っており、当第2四半期連結累計期間において、「BOOKOFF SUPER BAZAAR」を4館、「BOOKOFF」都市型大型店を2店舗出店しました。

当連結会計年度の重点施策として、販売促進の見直しと粗利率向上を進めてまいりました。

販売促進の見直しについては、サービス券の発行を抑制し、TVCMやチラシ等販売促進を強化しました。その結果、粗利率は上昇し、また広告費が増加することで販売費及び一般管理費は増加いたしました。

粗利率向上については、前連結会計年度に引き続き商品別の需給バランスを考慮した販売・買取価格の調整、在庫水準の見直しを進めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高36,990百万円（前年同四半期比0.7%増）、営業利益716百万円（前年同四半期比50.3%減）、経常利益902百万円（前年同四半期比43.8%減）、四半期純利益484百万円（前年同四半期比38.1%減）となりました。

各セグメント別の売上状況は以下のとおりです。

#### （ブックオフ事業）

当セグメント第2四半期連結累計期間業績は、売上高25,846百万円（前年同四半期比0.8%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間の出店は、グループ直営店6店舗、FC加盟店10店舗となりました（閉店はグループ直営店19店舗（同一建物内の複数店舗を1つの屋号に統合したことによる閉店17店舗を含む）、FC加盟店8店舗）。

既存店売上高は前年同四半期に比べ減少しましたが、新規出店やオンライン事業の売上増加が寄与し、増収となりました。

また販売促進の見直しの中でサービス券の発行を抑制したことにより、粗利率は前年同四半期に比べ上昇しました。

#### （リユース事業）

当セグメント第2四半期連結累計期間業績は、売上高5,465百万円（前年同四半期比10.8%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間の出店は、グループ直営店8店舗となりました（閉店はグループ直営店2店舗）。

既存店売上高が前年同四半期に比べ増加したほか、新規出店による売上増加が寄与し、増収となりました。

売上構成の半数を占めるアパレルに注力し、需給バランスを考慮した販売・買取価格の調整、在庫水準の見直しを重点施策として取り組んできたこと、また販売促進の見直しの中でサービス券の発行を抑制したことにより、粗利率は前年同四半期に比べ上昇しました。

#### （パッケージメディア事業）

当セグメント第2四半期連結累計期間業績は、売上高5,471百万円（前年同四半期比8.0%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間の出店はありませんでした（閉店はグループ直営店1店舗）。

「TSUTAYA」店舗は旧作DVDのレンタル料金を100円にしたことで客数は増加したものの、客単価の減少を補いきれず売上高は前年同四半期に比べ減少しました。新刊書店事業は既存店売上高が減少したこと、不採算店舗の閉鎖を進め

てきたことにより、売上高は前年同四半期に比べ減少しました。

(その他)

当セグメント第2四半期連結累計期間業績は、売上高206百万円(前年同四半期比6.5%減)となりました。  
当第2四半期連結累計期間の出店はありませんでした。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ782百万円減少し、5,068百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの変動要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は337百万円(前年同四半期は1,615百万円)となりました。これは税金等調整前四半期純利益746百万円や減価償却費975百万円、のれん償却166百万円等により資金が増加した一方で、売上債権・たな卸資産・仕入債務・未払金の増減により資金が388百万円が減少したこと、法人税等の支払額で1,014百万円減少したことが主な要因です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は1,080百万円(前年同四半期は571百万円)となりました。これは閉店等による差入保証金の回収154百万円に対し、新規出店等に伴う有形固定資産の取得725百万円及び差入保証金の差入504百万円、POSシステムへの追加投資等による無形固定資産の取得159百万円が主な要因です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は34百万円(前年同四半期は3,000百万円)減少しました。これは長短借入金が968百万円増加した一方で、長期末払金やリース債務の返済による支出636百万円、配当金の支払による支出458百万円が主な要因です。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

特記すべき事項はありません。

(5) 財政状態の分析

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は18,535百万円(前連結会計年度末は18,766百万円)となり、230百万円減少しました。業容の拡大に伴い商品が306百万円増加した一方で、現金及び預金が782百万円減少したことが主な要因です。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は20,039百万円(前連結会計年度末は19,217百万円)となり、822百万円増加しました。出店投資等により有形固定資産が535百万円増加し、差入保証金の増加等により投資その他の資産が524百万円増加した一方で、のれんの償却等により無形固定資産が237百万円減少したことが主な要因です。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債残高は24,044百万円(前連結会計年度末は23,596百万円)となり、447百万円増加しました。法人税等の納付により未払法人税等が677百万円減少した一方で、法人税等の支払いや剰余金の配当などの資金需要に対し銀行借入で対応したことで、借入金が968百万円増加したことが主な要因です。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産残高は14,530百万円(前連結会計年度末は14,386百万円)となり、144百万円増加しました。剰余金の配当を行った一方、四半期純利益が計上されたことにより利益剰余金が26百万円増加したこと、また「ブックオフコーポレーション従業員持株会専用信託」より当社従業員持株会への株式売却が進んだことにより自己株式が121百万円減少したことが主な要因です。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月8日)	上場金融商品取引所名ま たは登録認可金融商品取 引業協会名	内容
普通株式	19,473,200	19,473,200	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	19,473,200	19,473,200	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高 (千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	-	19,473,200	-	2,564,294	-	2,758,083

## (6)【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名または名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総 数に対する所 有株式数の割 合(%)
株式会社ハードオフコーポレーション	新潟県新発田市新栄町三丁目1番13号	1,400,300	7.19
大日本印刷株式会社	東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号	1,283,000	6.58
丸善株式会社	東京都中央区日本橋二丁目3番10号	1,183,300	6.07
カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社	大阪府大阪市北区梅田二丁目5番25号	1,146,000	5.88
ブックオフコーポレーション従業員持株会	神奈川県相模原市南区古淵二丁目14番20号	1,111,929	5.71
株式会社講談社	東京都文京区音羽二丁目12番21号	833,300	4.27
株式会社集英社	東京都千代田区一ツ橋二丁目5番10号	833,300	4.27
株式会社小学館	東京都千代田区一ツ橋二丁目3番1号	833,300	4.27
株式会社図書館流通センター	東京都文京区大塚三丁目4番7号	750,000	3.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	491,900	2.52
計	-	9,866,329	50.66

(注) 当社は自己株式742,782株を保有しておりますが、当該株式には議決権がないため、上記大株主からは除外しております。

## (7)【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 742,700	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 18,724,600	187,246	-
単元未満株式	普通株式 5,900	-	単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	19,473,200	-	-
総株主の議決権	-	187,246	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が400株含まれております。  
また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数4個が含まれております。

## 【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名または名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
ブックオフコーポレーション株式会社	神奈川県相模原市 南区古淵二丁目14 番20号	742,700	-	742,700	3.81
計	-	742,700	-	742,700	3.81

(注)上記のほか、自己株式と認識している当社株式が、247,100株あります。これは、平成22年3月3日付で実施した野村信託銀行株式会社(ブックオフコーポレーション従業員持株会専用信託口)への自己株式843,400株の譲渡について、会計処理上、当社と信託口が一体のものであると認識し、信託口が所有する当社株式を自己株式として計上していることによるものです。

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,851,165	5,068,549
受取手形及び売掛金	959,203	1,000,139
商品	9,560,108	9,867,100
その他	2,396,690	2,599,871
貸倒引当金	693	5
流動資産合計	18,766,474	18,535,656
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,899,235	5,169,168
リース資産(純額)	1,722,777	1,980,508
その他(純額)	633,729	641,153
有形固定資産合計	7,255,741	7,790,830
無形固定資産		
のれん	1,120,233	900,783
その他	1,005,193	987,606
無形固定資産合計	2,125,426	1,888,390
投資その他の資産		
差入保証金	8,480,177	8,869,410
その他	1,448,512	1,575,609
貸倒引当金	92,749	84,494
投資その他の資産合計	9,835,941	10,360,525
固定資産合計	19,217,110	20,039,746
資産合計	37,983,584	38,575,403

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,141,306	1,035,984
短期借入金	4,930,000	5,313,336
1年内返済予定の長期借入金	2,899,745	3,030,196
リース債務	396,079	467,176
未払法人税等	1,085,569	408,092
賞与引当金	297,424	301,361
店舗閉鎖損失引当金	16,739	33,939
その他	3,445,286	3,468,792
流動負債合計	14,212,151	14,058,879
固定負債		
長期借入金	5,730,265	6,184,931
資産除去債務	1,256,029	1,340,930
リース債務	1,319,312	1,493,239
その他	1,079,230	966,740
固定負債合計	9,384,837	9,985,840
負債合計	23,596,988	24,044,719
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,564,294	2,564,294
資本剰余金	3,098,903	3,098,903
利益剰余金	9,669,865	9,695,878
自己株式	712,000	590,725
株主資本合計	14,621,062	14,768,350
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	487	7,022
為替換算調整勘定	234,953	244,689
その他の包括利益累計額合計	234,466	237,666
純資産合計	14,386,595	14,530,683
負債純資産合計	37,983,584	38,575,403

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	36,738,314	36,990,024
売上原価	15,676,364	15,116,808
売上総利益	21,061,950	21,873,216
販売費及び一般管理費	19,620,099	21,156,715
営業利益	1,441,850	716,501
営業外収益		
自動販売機等設置料収入	101,607	102,848
古紙等リサイクル収入	113,759	123,219
負ののれん償却額	46,825	-
持分法による投資利益	-	2,046
その他	112,145	107,419
営業外収益合計	374,338	335,534
営業外費用		
支払利息	129,429	113,697
持分法による投資損失	3,135	-
為替差損	33,582	18,065
その他	45,177	17,933
営業外費用合計	211,324	149,695
経常利益	1,604,864	902,340
特別利益		
投資有価証券売却益	1,100	-
災害損失引当金戻入額	44,925	-
移転補償金	117,053	-
特別利益合計	163,079	-
特別損失		
投資有価証券売却損	24,547	29,236
店舗閉鎖損失	10,023	12,357
店舗閉鎖損失引当金繰入額	51,284	34,074
固定資産除却損	10,329	17,082
減損損失	151,699	62,903
災害による損失	56,640	-
特別損失合計	304,524	155,653
税金等調整前四半期純利益	1,463,419	746,687
法人税、住民税及び事業税	501,256	332,823
法人税等調整額	178,803	70,794
法人税等合計	680,060	262,028
少数株主損益調整前四半期純利益	783,359	484,658
四半期純利益	783,359	484,658

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	783,359	484,658
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,087	7,911
為替換算調整勘定	30,884	9,735
持分法適用会社に対する持分相当額	44	14,446
その他の包括利益合計	37,016	3,200
四半期包括利益	820,376	481,457
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	820,376	481,457
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,463,419	746,687
減価償却費	994,238	975,717
減損損失	151,699	62,903
のれん償却額	181,446	166,822
負ののれん償却額	46,825	-
賞与引当金の増減額(は減少)	23,710	3,937
貸倒引当金の増減額(は減少)	3,696	8,923
店舗閉鎖損失引当金の増減額(は減少)	51,284	34,074
災害損失引当金の増減額(は減少)	106,975	-
支払利息	129,429	113,697
持分法による投資損益(は益)	3,135	2,046
店舗閉鎖損失	10,023	12,357
固定資産除却損	10,329	17,082
移転補償金	117,053	-
災害損失	56,640	-
売上債権の増減額(は増加)	3,407	41,181
たな卸資産の増減額(は増加)	46,084	317,832
仕入債務の増減額(は減少)	99,290	104,642
未払金の増減額(は減少)	12,792	75,374
その他	139,031	285,273
小計	2,778,260	1,448,751
利息及び配当金の受取額	4,056	5,813
利息の支払額	126,428	113,910
移転補償金の受取額	117,053	-
災害損失の支払額	77,981	-
法人税等の支払額	1,100,263	1,014,104
法人税等の還付額	20,372	10,739
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,615,069	337,289
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	50,389	-
定期預金の払戻による収入	70,474	-
有形固定資産の取得による支出	307,363	725,307
無形固定資産の取得による支出	71,745	159,985
投資有価証券の取得による支出	4,125	1,000
差入保証金の差入による支出	271,218	504,336
差入保証金の回収による収入	231,491	154,722
店舗譲受による支出	76,995	-
その他	91,446	155,108
投資活動によるキャッシュ・フロー	571,317	1,080,798

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	1,376,000	383,336
長期借入れによる収入	1,550,000	2,200,000
長期借入金の返済による支出	2,195,728	1,614,884
長期未払金の返済による支出	446,881	383,917
リース債務の返済による支出	223,589	252,099
自己株式の処分による収入	90,289	92,039
配当金の支払額	398,519	458,645
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,000,429	34,171
現金及び現金同等物に係る換算差額	673	4,936
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,957,350	782,615
現金及び現金同等物の期首残高	6,505,179	5,851,165
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	6,922	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 4,554,750	1 5,068,549

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

連結の範囲の重要な変更

平成24年4月1日付で青山ブックセンター株式会社は、プラスメディアコーポレーション株式会社に吸収合併されたことに伴い消滅しております。

【会計方針の変更】

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行11行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
当座貸越極度額の総額	10,350,000千円	10,300,000千円
借入実行残高	4,650,000	4,850,000
差引額	5,700,000	5,450,000

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
貸倒引当金繰入額	3,696千円	8,315千円
給与手当	2,164,080	2,224,722
パート・アルバイト給与	5,112,209	5,457,492
賞与	141,611	105,525
賞与引当金繰入額	271,692	299,499
地代家賃	5,044,391	5,328,125
賃借料	443,701	416,920

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	4,656,105千円	5,068,549千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	101,354	-
現金及び現金同等物	4,554,750	5,068,549



(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

## 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成23年6月25日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	398,519	22	平成23年3月31日	平成23年6月27日

(注)配当金の総額には、ブックオフコーポレーション従業員持株会専用信託に対する配当金13,549千円を含めておりません。これはブックオフコーポレーション従業員持株会専用信託が所有する当社株式を自己株式として認識しているためであります。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年6月23日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	458,645	25	平成24年3月31日	平成24年6月25日

(注)配当金の総額には、ブックオフコーポレーション従業員持株会専用信託に対する配当金9,615千円を含めておりません。これはブックオフコーポレーション従業員持株会専用信託が所有する当社株式を自己株式として認識しているためであります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	ブックオフ 事業	リユース 事業	パッケージ メディア事 業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	25,634,208	4,933,187	5,949,958	36,517,353	220,961	36,738,314	-	36,738,314
セグメント間の内部売上高 又は振替高	151,870	-	-	151,870	92,111	243,982	243,982	-
計	25,786,078	4,933,187	5,949,958	36,669,223	313,072	36,982,296	243,982	36,738,314
セグメント利益又は損失( )	2,584,335	156,022	14,700	2,443,013	37,181	2,405,832	963,982	1,441,850

(注)1. 「その他」は、「ブックオフ事業」、「リユース事業」、「パッケージメディア事業」に含まれない店舗の運営(屋内遊具施設を営むチェーン「KID-0-KID」店舗等)及び各事業の店舗の内外装工事の企画・設計施工等を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,443,013
「その他」区分の損失	37,181
全社費用(注)	963,982
四半期連結損益計算書の営業利益	1,441,850

(注)全社費用は、主に当社の管理部門等に係る費用であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ブックオフ事業」、「リユース事業」及び「パッケージメディア事業」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗で、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び使用範囲の変更により回収可能価額を著しく低下させる変化があった店舗について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては125,119千円であり、セグメントごとの減損損失の計上額は以下のとおりです。

「ブックオフ事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、65,227千円であります。

「リユース事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、17,681千円であります。

「パッケージメディア事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、42,210千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	ブックオフ 事業	リユース 事業	パッケージ メディア事 業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	25,846,797	5,465,482	5,471,162	36,783,443	206,581	36,990,024	-	36,990,024
セグメント間の内部売上高 又は振替高	194,950	141	253	195,345	59,855	255,201	255,201	-
計	26,041,747	5,465,624	5,471,415	36,978,788	266,437	37,245,226	255,201	36,990,024
セグメント利益又は損失( )	1,884,773	158,467	69,604	1,656,702	3,881	1,660,584	944,082	716,501

(注)1. 「その他」は、「ブックオフ事業」、「リユース事業」、「パッケージメディア事業」に含まれない店舗の運営（屋内遊具施設を営むチェーン「KID-0-KID」店舗等）及び各事業の店舗の内外装工事の企画・設計施工等を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,656,702
「その他」区分の利益	3,881
全社費用(注)	944,082
四半期連結損益計算書の営業利益	716,501

(注) 全社費用は、主に当社の管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「ブックオフ事業」、「リユース事業」及び「パッケージメディア事業」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗で、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び使用範囲の変更により回収可能価額を著しく低下させる変化があった店舗について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては62,903千円であり、セグメントごとの減損損失の計上額は以下のとおりです。

「ブックオフ事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、57,480千円であります。

「パッケージメディア事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、5,422千円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	43円11銭	26円33銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	783,359	484,658
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	783,359	484,658
普通株式の期中平均株式数(千株)	18,172	18,405
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	平成17年6月25日定時株主総会決議によるストック・オプション 上記の新株予約権は、平成24年6月30日をもって権利行使期間満了により失効しております。

(注)1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり四半期純利益金額の算定に用いられた普通株式の期中平均株式数は、ブックオフコーポレーション従業員持株会専用信託が所有する当社株式の数を控除して算定しております。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成 24 年11月 5 日

ブックオフコーポレーション株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士 米澤英樹 印

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士 鳥居宏光 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているブックオフコーポレーション株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ブックオフコーポレーション株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。